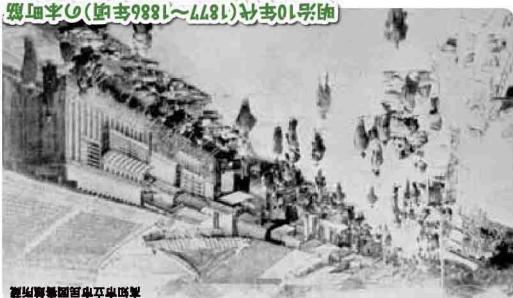




パンフレットを持って、博物館のまわりに広がる城下町の世界を探検してみよう！



明治10年(1877年)～1896年頃)の本町  
現在の本町は、当時の本町通りや、現在の追手筋通りの位置にあたる。  
現在の追手筋通りは、江戸時代の正門通りと呼ばれる通りで、現在の本町通りは、江戸時代の北側通りである。



## じょうまち ちしき かちゅう 高知の城下町 まめ知識[郭中編]

高知の城下町を最初に整備した人は誰ですか？

えどじだい 江戸時代の初めに、山内一豊が整備しました。

郭中の東西南北の範囲はどこまでですか？

ほんい 東は堀詰、西は舟形、南は鏡川、北は江口川です。

郭中にはどういう人が住んでいましたか？

かうこう 家老をはじめ、土佐藩の上級武士が住んでいました。

郭中には、何軒くらいの武家屋敷がありましたか？

えどじだい 江戸時代の終わり頃には約380軒ありました。

郭中はどういう特色の地域ですか？

お城があつて、土佐藩の役所や学校もあって、上級武士が暮らす土佐藩の政治の中心地です。



表紙航空写真: 高知市承認28情報第575号

歩こう！ 楽しもう！

# 高知の城下町

かちゅうへん  
郭中編

こちゅじょうれきしはくぶつかん  
高知城歴史博物館の正面入り口(北側入り口)から出て、

おてすじ  
追手筋を東の方にがめた風景です。

えどじだい 江戸時代、この通りは、参勤交代の大名行列が通った通りで、道の両側には、土佐藩の役所や藩校、家老の屋敷などが並んでいました。

このパンフレットで紹介する博物館のまわりの地域は、江戸時代には「郭中」とよばれた城下町の中心地でした。

現在のまちを歩きながら、江戸時代の風景を思い描いてみましょう。



たんけん このパンフレットには、城下町を探検する時に役立つヒントがたくさんあります。



また、江戸時代の正門通り(現在の本町通り)、北側通り(現在の追手筋通り)、堀詰通り(現在の堀詰町通り)、舟形通り(現在の舟形町通り)、鏡川(現在の鏡川)、川内川(現在の川内川)、北ノ口(現在の北ノ口)、中ノ口(現在の中ノ口)、南ノ口(現在の南ノ口)、本町(現在の本町)、中町(現在の中町)、上町(現在の上町)、下町(現在の下町)、東町(現在の東町)、西町(現在の西町)、北側通り(現在の追手筋通り)、堀詰通り(現在の堀詰町通り)、舟形通り(現在の舟形町通り)、鏡川(現在の鏡川)、川内川(現在の川内川)、北ノ口(現在の北ノ口)、中ノ口(現在の中ノ口)、南ノ口(現在の南ノ口)、本町(現在の本町)、中町(現在の中町)、上町(現在の上町)、下町(現在の下町)、東町(現在の東町)、西町(現在の西町)、

江戸時代の城下町マップ(複数枚)  
このパンフレットには、城下町を探検する時に役立つヒントがたくさんあります。





やまとうどう たんじょうち  
**山内容堂誕生地**  
A

山内容堂が生まれた場所です。  
士佐藩の藩主で、幕末四賢侯の一人として有名です。



よしだとうよう きねのち  
**吉田東洋記念の地**  
B

吉田東洋が殺害された現場の近くにあります。幕末に藩の政治改革を行った人です。



たけちはんぺい(すいざん)さいごのち  
**武市半平太(瑞山)最期の地**  
C

武市半平太が処分を受けて切腹した場所です。土佐勤王党を組織した人で、剣の達人でした。



いたがきたいすけ たんじょうち  
**板垣退助誕生地**  
D

板垣退助が生まれた場所です。  
「板垣死すとも自由は死せず」の言葉は有名です。



ごとうしょうじろう たんじょうち  
**後藤象二郎誕生地**  
E

後藤象二郎が生まれた場所です。  
大政奉還を山内容堂にすすめて、実現させた人です。



ふくおかたちか たんじょうち  
**福岡孝兄弟誕生地**  
F

福岡孝弟の生まれた場所です。  
五箇条の誓文の作成に関係した人です。

じょうかまちたんけん  
**城下町探検の記録**

年月日

かわら  
マップを参考に、郭中エリアを探検してみよう!  
気づいたこと、きょうみを持ったことをメモしよう!

.....  
.....  
.....

## 探検の準備はOK?



ななかんさん やしきあと  
**野中兼山屋敷跡**

江戸時代の前期に、士佐藩の奉行職として活躍した野中兼山の屋敷があったところです。お堀の内側に屋敷がありました。



おうてすじ  
**追手筋**

江戸時代のメインストリートです。当時の道幅はどれくらいだったのか、発掘調査など、今後の調査が期待されます。



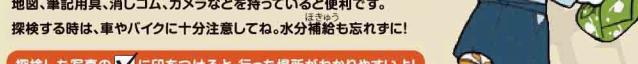
きたかいしょ  
**北会所ならびに教授館跡**

北会所は、地域の政治を行う士佐藩の重要な役所でした。江戸時代中期には、藩校教授館も設置され、武士の教育を担いました。



ひろめ市場  
「ひろめ市場」という不思議な名前は、幕末の土佐藩の家老深尾弘人に由来しています。  
当時、ここに屋敷がありました。

1

探検した写真の  に印をつけると、行った場所がわかりやすいよ!

2

江戸時代のメインストリートです。当時の道幅はどれくらいだったのか、発掘調査など、今後の調査が期待されます。

3

南北越前邸跡

4

「ひろめ市場」という不思議な名前は、幕末の土佐藩の家老深尾弘人に由来しています。  
当時、ここに屋敷がありました。



さいばん  
南会所は、武士に関する事や、裁判・教育に関する事などを扱った士佐藩の役所です。幕末、だけはんぺい(すいざん)あがりや 武市半平太(瑞山)は南会所の居間に入れられ、最期を遂げました。



おのりぞめ  
土佐藩の筆頭家老深尾家の屋敷があった場所です。この屋敷には、正月の御祝初のはんし、さばむしわ 隆吉が開馬武者を見学するための2階建の御座がありました。



ほり  
現在、ホテル三翠園とNTT高知南ビルの東側に、斜めに走る道路があります。もしかしたら、江戸時代の堤の場所や造りと関係があるかもしれません。



ようどう  
山内家の下屋敷(敷田邸)に残る長屋です。古い建物をつめた足踏みの話題に使われていました。